担当者スポット



おじさんの気分転換

教育研修部　大竹　正一
OOTAKE Masakazu

市役所で、30年以上環境衛生指導員として許可事務や指導業務を続けてきました。そして、昨年の4月からJWセンターで講習会の責任者などを務めています。

どのような仕事でも、仕事のストレスは多かれ少なかれあるものです。若いころは、バレーボールなどで気分転換(ストレス解消) ができましたが、年を取るとともに続けることができなくなりました。残るは、走るか、歩くかですが、子供のころから走るのは苦手でしたので、歩くことにしました。

きっかけは、10数年前に職場の仲間と国府津から山越えで曽我の梅林に行ったとき、たまたまJR東日本の「駅からハイキング」に参加したことです。

その後、東武鉄道や西武鉄道などのハイキングに参加し、ほとんど毎週どこかを歩いています。

講習会で全国に行きますが、春から秋には、朝の早い時間や夕方に2時間位歩いて気分転換をしています。

編集後記

新年度になりました。平成28年度は、4月から電力自由化が始まるほか、5月にG7伊勢志摩サミットが開催されるなど、今後の廃棄物処理やエネルギー問題を取り巻く環境にも変化が見られるものと思われます。

本年度のコラムは長野都市ガス株式会社の塩入様に、連載講義は「廃棄物対策から効率的な資源管理」について前国際連合地域開発センターの小野川様に、今号から来年1月号までの計4回のご執筆をいただくこととなりました。

今号では、「行政のうごき」でG7サミットの開催地であり、電子マニフェストに熱心に取り組んでいただいている三重県に電子マニフェスト普及の取組についてご執筆いただきました。電子マニフェストの「ユーザ事例紹介」は太平洋セメント株式会社に、処分業者における電子マニフェストへの対応についてご執筆いただきました。「産廃クローズアップ」はパナソニックエコテクノロジー関東株式会社にお伺いし、家電リサイクル施設における電子マニフェスト利用と最新の家電リサイクル技術について取材させていただきました。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(藤原)

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。
URL http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報(季刊) VOL.16 NO.1　発行日：平成28年4月15日発行　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい